

東洋炉工業（株）（松原支店）**コンベアベルト改良で特許取得
「大阪府発明功績者」表彰を受賞**

堺市美原区丹上で各種工業熱処理炉の製造販売とメンテナンスを手掛ける同社（天野美佐子社長）。その営業設計部副部長を務める岡野豊氏が4月、府知事表彰の「大阪府発明功績者」を受賞しました。

本表彰は特許・実用新案に登録された優秀な発明について、実績が顕著な個人や団体に対して授与するものです。同氏は、コンベア用ベルトの販売などを手掛ける原金網（株）とともに、物品搬送ベルトコンベア用メッシュベルトの改良に積極的に取り組み、共同で特許を取得。その功績が高く評価されました。



府庁での授賞式に出席した天野社長（左）と岡野副部長

**勝川熱工（株）**（吉田支店）**産業用熱交換器製造の老舗が
大阪ものづくり優良企業賞を受賞**

優良企業賞を受賞した同社の本社社屋

東大阪市今米で産業用熱交換器の製造を担う同社（勝川義清社長）は「大阪ものづくり優良企業賞2025」の優良企業賞を受賞しました。

1934年創業の同社は、伝熱性能が高くコンパクトなフィンチューブ式を中心に手掛け、製品は、自動車や食品、建築資材などあらゆる工業製品の製造工程で活躍しています。環境負荷の軽減にも積極的で、工場やごみ処理場などの排熱装置をはじめ、再生可能エネルギーを効率利用できる装置の開発にも力を注いでいます。

ミザック（株）（西九条支店）**大阪市下水道科学館の
ネーミングライツを獲得**

大阪市北区堂島浜を拠点に上下水道工事業を営む同社（柗木隆弘社長）は、市の「ネーミングライツパートナー」一斉募集事業で大阪市下水道科学館（此花区）の命名権を獲得。4月に同館の愛称が「ミザック下水道科学館OSAKA」となり、命名記念式典が行われました。

1933年から下水道の維持管理に携わり、大阪のインフラを支えてきた同社。これをきっかけに社会や地域、子どもたちとつながる企業を目指し、より一層の社会貢献に取り組みます。



同館で行われた命名記念式典

（株）上田工務店（山本支店）**自社施工が強みの地域密着型
新社屋で効率と利便性が向上**

建築した新社屋

八尾市小畑町を地盤に建築工事業と不動産売買・仲介業を営む同社（上田豊社長）は4月、新社屋を建築しました。

永年にわたり地元業者との絆を深めてきた地域密着型工務店の同社は、新築、リフォームとも自社施工できるのが強みです。スタイリッシュな外壁材と木材を用いた新社屋も自社で建築施工したもので、旧社屋では離れていた倉庫・駐車場を1カ所に集約しました。これにより業務効率化と商談の利便性向上が図られ、さらなる業績拡大が期待されます。

（株）扇機械製作所（姫島支店）**自動省力機械の専門メーカー
社屋増設で複数同時期納品も**

増設した本社社屋

大阪市西淀川区姫島で薬品包装などの自動機械を設計・製造する同社（澤田登社長）は3月、本社社屋を増設しました。

部品一つから自社で手掛け、組み立てを行う専門メーカー。従来は本社社屋が事務所と組み立て場所を兼ねており、スペースの制約で受注調整が必要でしたが、増設により複数製品の同時組み立て、同時期納品が可能になりました。自動省力化機械は労働人口の減少対策に不可欠とあって、さらなる発展が期待されます。

道面 義雄氏（梅田支店）**和文化的新しい可能性を追求
「WABORATORY」開設**

（株）WABORATORYの代表を務め、「自由な和の文化」の発信を続けている同氏は4月、きもの・帯・小物など和装品の販売やクラフト体験を行う施設「WABORATORY」を大阪市北区の天神橋筋5丁目商店街に開設しました。

名称は「WA（和・輪）」と「LABORATORY（実験室）」を組み合わせた造語。多くの人々と一緒に、さまざまな体験を通じて和文化的な新しい可能性を発見する、そんな「実験室」を目指しています。



和文化的な可能性を探る「WABORATORY」の店内

（株）Amazing（八尾営業部）**野球に情熱を燃やす新進企業が
ブランド展開へクラブ工場新設**

3月に稼働したクラブ工場

八尾市宮町を拠点に野球スクールの運営、野球用品販売を手掛ける同社（廣畑実社長）は3月、クラブ工場を新設しました。

廣畑社長は社会人野球・Jリーグの元選手で、「ミノルマン」の名で技術指導動画を配信するユーチューバーとして知られています。2021年設立の同社は若い企業ながら年々業容を拡大し、ブランド展開を進めるなかでクラブの製造に昨年から着手。従業員が職人の下で1年間修業を積み、設備・体制も整ったことから工場を稼働させました。

（有）スタッドラインファスナー（昌支店）**ドイツ複合機と中国レーザー加工機
業界初のパッケージ導入を提案**

東大阪市本庄で工業用産業機械の販売などを担う同社（西川博文社長）は3月、ドイツのトルンプ社製複合機と中国のボーダー社製レーザー加工機をパッケージで導入する顧客提案を開始しました。

トルンプ社とボーダー社のコラボは業界初。各種ソフトを使って連携制御が可能であり、国内メーカーの板金加工機に比べ低コストで新規導入・買い替えができます。4月にインテックス大阪で開かれた展示会「インターモールド2026」ではボーダー社と共同で実機を披露しました。



各種ソフトウェアでの制御のご提案が可能です。

